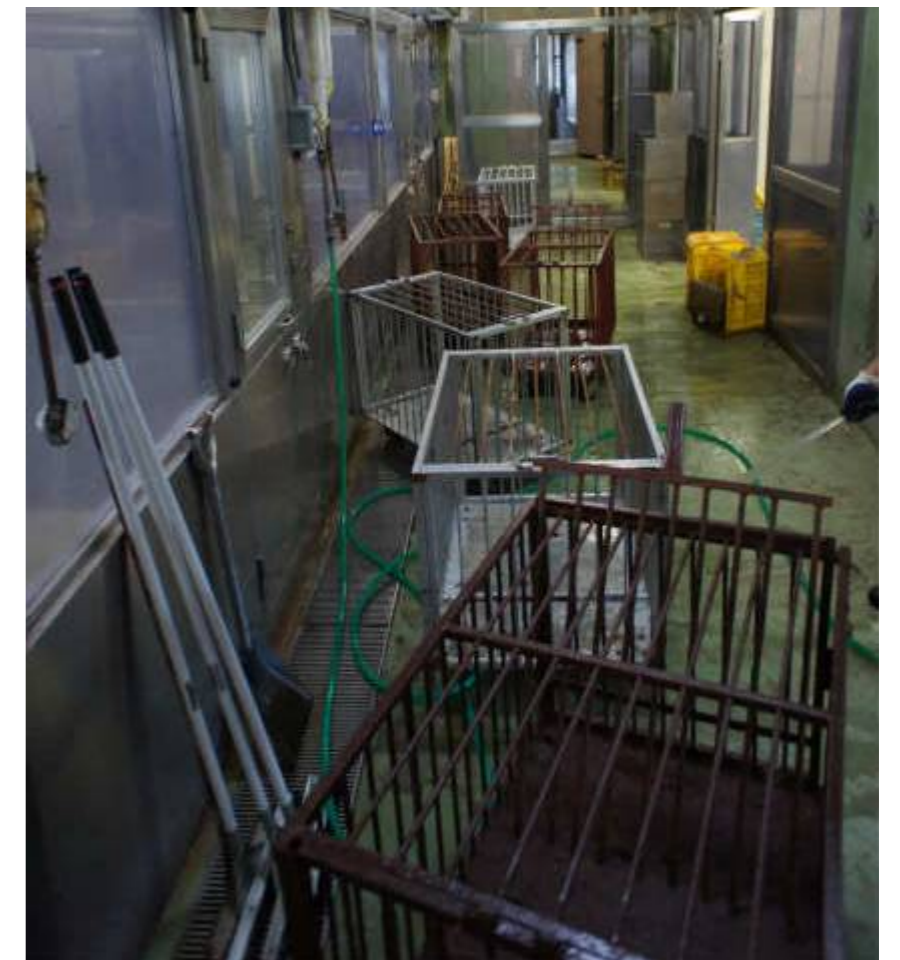


午後 センターに到着するトラック



ちばわん愛護センター・レポート 2010年10月9日より
続々と降ろされるのは、
保健所で収容期限が切れた犬、
または 当日飼い主に持ち込まれた犬やねこ。
廊下に並ぶ空っぽの檻からも
判るように 最終部屋は数え
きれない犬が収容され、翌朝
殺処分されます。



このレポートの写真が撮られた日は 定点収集の日。生まれたばかりの子犬も持ち込まれました。
定点収集とは、センターまで行かなくても 飼い主が決まった場所へ 犬、ねこを連れていくと 行政が
引き取り センターに運ぶシステムです。

最終部屋の数えきれない犬たち



←最終部屋の右隣にある処分室への通路

この通路の左側の壁が開き、最終部屋とつながります。その後 最終部屋の左側の壁が右へ移動し、犬たちは この狭い通路へ追い込まれるように自ら歩かされます。処分は 二酸化炭素ガスによる窒息死。遺体は、自動的に焼却炉の中へ。骨は産業廃棄物として、業者に引き渡されます。



センター内の写真は 千葉県動物愛護センターにて 撮影